北海道東川養護学校　学校運営協議会会議録

令和 6 年度第 3 回学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和 7 年 2 月 18 日（火）	場所	東川養護学校　校長室
出席委員	蔦森　英史（北海道教育大学　旭川校　准教授） 下込　純平（東川町教育委員会　学校教育課推進室　室長） 猪俣　英治（新栄町内会長） 新保　博嗣（北海道東川養護学校 PTA 会長）		
本校職員	業天　誉久（北海道東川養護学校長） 渡邉　憲幸（北海道東川養護学副校長） 三瓶　　聡（北海道東川養護学校教頭） 田村　臣太郎（北海道東川養護学校事務長） 本母　世跳（北海道東川養護学校主幹教諭）		
会議の概要	（1）校長挨拶 ■令和 7 年度の学校経営グランドデザインを説明し、教職員や委員から意見を集めつつ、次年度の経営に反映させたい意向をお伝えした。 （2）学校運営状況の説明・意見交換 ■地域連携研修：「自立活動研修会」の成果と課題を教頭より報告。自立活動の理解深化や主体性育成の重要性を協議した。 ■学校評価：学校評価及び年度末評価に関する課題解決方向を副校長が説明した。全体的な自己評価、保護者評価の改善を報告する中で、今年度も教職員の多忙感、業務の偏りには課題があることを報告した。 ■令和 7 年度東川養護学校グランドデザインを校長が説明。子ども主体の授業充実を目指した分かりやすいグランドデザインと one チームから our チームへ組織への参画意識醸成の取り組みと「共創」みんなで学校を創っていこうとする今後の方向性が高く評価された。 ◎学校運営協議会委員の主な意見 ・子どもが自分の考えを持ち、行動にうつす力を育む教育の重要性。 ・特別支援学校を含むインクルーシブ教育の推進。 ・卒業後の社会生活を見据えた自立活動の必要性。 ・資料作成の分かりやすさや「共創」というスローガンへの評価。 ・地域社会と連携した取り組みの継続の期待。 ・今年度の学校運営協議会について、委員は学校運営への協力と今年度 1 年間の東川養護学校の変化への評価が伝えられ、今後さらに地域や他校との連携、交流学習の継続を期待する声があがった。		

	（３）校長謝辞 ■学校運営協議会委員の方々へむけて、協力への感謝と、変化の激しい時代に対応するため、今後も引き続き、地域との協働を続けていきたいと謝辞を述べた。